



宇都宮市長

# 佐藤 栄一

「財政改革のおかげで、経済危機への対応もできたと思います」

(佐藤市長)

7月が0.35倍、10月には0.43倍と大変厳しい。とりわけ新卒者の内定率が心配です。

築 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。  
佐藤 おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。  
築 この一年は、アメリカに端を発した世界同時不況によって大変な時期でした。最近でもデフレ宣言や十数年ぶりの円高など、二番底の懸念も言われている状況です。それに加えて政権交代、新型インフルエンザの流行などもあり、大変難しい市政運営をされてきたのではないかと思います。

佐藤 この経済不安は日本だけでなく全世界的状況ですが、そういう中であつていかに市民の皆様は、安心して生活を送っていたか、細心の注意を払ってききました。宇都宮市ではこの5年間、市民の皆様にはつきりと数字でお示しできるような、財政改革を進めてきました。それがあつたから、今回の激震にも対応できたのかなと思います。

築 早め早めに対応いただけたので、大変助かりました。  
今、私も商工会議所が考える重要課題の一つに、有効求人倍率の問題があります。  
佐藤 大きな問題です。  
築 ハローワーク宇都宮の管内ですと、

昨年10月現在で、高卒者の内定率が、宇都宮市で62.5%。大卒は栃木県全体で37.7%と、まさにかつての就職氷河期の再来です。これは、若い人たちの一生を左右する問題ですから、商工会議所としても頭を悩ませているのですが、なかなか有効な手立てが見つからないのが実情です。  
佐藤 市としては、雇用に対する助成制度だけでなく、企業経営全般を支援する方策をとってまいりました。例えば信用保証の補助対象融資額を1000万円まで拡大して、信用保証料をこちらで持たせていただいたり、今年度の融資枠を213億円に拡大しました。これは、ご利用される方がかなり多かったですね。  
それから企業の求める人材の育成に、夜間の職業訓練を始めました。これまでに3回、講義を開催しまして、医療事務やヘルパー、エクセルなどの講習を行いました。20人の枠に8倍もの人が応募されましたので、新年度はさらに拡充をしていかななくてはと思っています。

「北関東自動車道が全線開通すれば、東アジアへの道が開けます」

(築会頭)

## 特集 春対談 宇都宮の強みを どう生かすかが、鍵

# 大転換の時代を 乗り切るには、 オール宇都宮で

昨年引き続き、佐藤栄一宇都宮市長と当所・築郁夫会頭による、新春対談をお届けします。昨今の経済危機への対応や魅力あるまちづくりの方策など、縦横に語り合っていたきました。

築 最終的には総需要を増やすことが重要なんです。定住人口の急激な拡大は望みませんから、いかに来訪者を増やすかという点にかかっていると考えています。その点で宇都宮市は、平成20年の数字を見ると、入れ込み客数が1384万人で、ちょうど意外なくらい多いんです(笑)。  
来訪目的では一位が餃子で、約6割。これは本市のブランド力を発揮したものだと思います。2位がショッピングで、これが約4割。3位が餃子・カクテルを除く飲食で、約3割ということなんです(数字は複数回答)。

ただ、残念ながらこのうち宿泊したのは107万人と、ごく少ない。  
佐藤 日帰り、あるいは通過地点になってしまっているんですね。それを改善するには、栃木県全体の広域の中で観光資源を生かして客を呼ぶ際に、宇都宮を拠点にしていたけるようにすることでしょう。そのためには「おもてなし運動」にももっと力を入れなくてはなりませんし、観光資源を磨き上げることも大切です。

それと、北関東自動車道が全面開通し

た時に、茨城県と群馬県の間であつて、まさしく通過点にならないようにしていかなくてはならないと思います。  
築 栃木県内の群馬側が開通すれば新潟まで抜けますので、今後東アジアとの交流に期待できます。これは非常に重要ですね。その時に、北関東の中心に位置する宇都宮市が、大きな役割を果たせるようにならないとではなりません。

「街中で宴会がある時には、必ず先に宮カフェに寄るんです(笑)」

(佐藤市長)

築 中心市街地活性化は長い間のテーマです。前回の通行量調査などでも、一度底を打ったと思ったのが、さらに減少してしまつた。もちろん経済情勢の変化を考慮しないといけません。いずれにしても急務であることは間違いありません。

佐藤 せっかく、中心市街地の通行量について少し良い数字になりつつあつたのですが、やはり景気の問題は、大きいと思います。ただ、景気のせいにはかりしてはられませんから、これからは商店街等と協力して、

さまざまなイベントを仕掛けていきたいと考えています。  
また、イベントだけでなく、年間を通じて効果のある仕掛けを、何か行う必要があると考えています。

築 オリオンスクエアの利用率が40%くらいに上がってきました。昨年の10月は70%という数字も出ています。宇都宮城址公園、表参道スクエアなどもありますので、まあ舞台は揃ってきたと。これをどう活用するか、ですね。  
佐藤 拠点としては、宮カフェもオープン

しました。運営では大変お世話になります。出だしは大変好調なので、これをどうつなげていくか、だと思います。

佐藤 街の中で宴会などがある時には、宮カフェに一度寄つて、ビールでも一杯飲んでから行くようにしています(笑)。1階のマルシェの生菓子は、いつ行つても売り切れで、なかなか買えないんですよ。大したものですよ。

築 商売から行くと売り切れでは困るんですけれどね(笑)。  
まだまだ手探りですが、ああいった雰囲気は今まで街中ありませんでしたから。

佐藤 そうですよ。あのような店が、も

### やな・いくお

1934(昭和9)年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1998(平成10)年11月、宇都宮商工会議所会頭に就任。(株)福田屋百貨店取締役会長。ほかに、(社)栃木県商工会議所連合会会長、宇都宮観光(ベンチ)協会会長、栃木県防衛協会会長、(株)足利銀行社外取締役(名誉)を務める。

宇都宮商工会議所会頭

# 築 郁夫





盛大に開催されたミヤ・ジャズイン2009

た予算の中で有効な使い方をすることを心がけています。環境、農業、商工業、子どもや高齢者や障がい者福祉、それに教育。こういったところを柱にしていきたいと思います。特に教育については新年度から小中一貫教育を進め、地域学校圏を形成していこうと考えています。

先生方に聞くと、学力を上げるにはなんといっても読む力が重要だそうです。ところが宇都宮の子供たちは、以前は読書量が全国平均以下だった。そこで、司書を各学校に配置して図書室の充実を図るとともに、市の図書館の蔵書量増加を推進してきました。現在計画中の第3図書館が出来れば、全国トップクラスになるといわれています。

**築** 第3図書館は雀宮ですね。



宇都宮市長

宇都宮商工会議所会頭

# 佐藤 栄一 × 築 郁夫



昨年11月にオープンした宮カフェは、人気も上々

う少し増えていけば、中心市街地も賑わいが出てくると思います。

**築** 若い人たちは、音楽やスポーツが盛んな地域に集まります。その意味で、今、力を入れて、ジャズは重要だと思っています。ジャズについては、私どものミヤジャズ以外にもさまざまなイベントが行われるようになりました。スポーツについてはサッカーやバスケット、自転車といったプロスポーツが宇都宮に拠点を構えています。こういったことで、若い人をひきつける街づくりが進んでいますね。

**佐藤** 栃木S.Cやブレックス、ブリッツェンの皆さんは、競技以外に、小中学校訪問などの地域貢献活動もしてくださって、スポーツの裾野拡大にご協力いただいています。ありがたいですよ。

**築** それによって幅広い底辺がきちんとできて、ただ見るだけでなく自分たちもやるようになれば、いい選手も増えてきますね。

**佐藤** そうですね。ほとんど、自慢できる人材が増えてほしいと思います。音楽で言えば、チエロの宮田さんが大きな賞を受賞されました。宮田さんも、宇都宮市のためにいろいろご協力をいただけたことになっていきます。

**築** いや、あれは快挙でしたね。市民として本当にうれしいニュースでした。

## 「宇都宮市の産業構造は、非常にバランスがいいと思います」

(築会頭)

**築** 当市の産業構造別総生産額のおおよその割合は、第一次産業が0.5%、第二次産業が34%、第三次産業が65.5%です。県全体では第一次産業が1.8%、第二次産業が41.6%、第三次産業が56.6%と、ものづくりが突出していますので、本市とは少し違います。本市のバランスは、先進的な構造として非常に良いバランスではないかと思っています。

**佐藤** そうですね。

**築** その中で市長が農業王国、宇都宮、やアグリネットワークの構想を打ち出し、すでに国の農工商等連携事業計画の認定を受けたものもあります。今後も地域資源を活用した取り組みとして、さらには、地産地消としても重要な取り組みです。

また、植物工場などの設置も考えていますので、その際にはご協力をお願いします。

**佐藤** 第三次産業の牽引役は何でしょうね。

**築** 五十万都市ですから、いろんな要素が入っていると思います。それと、三次産業が強いというのは、企業城下町ではないという表れでもありますね。

**佐藤** そうです。隣には科学技術高校が開校予定です。

**築** その意味では、雀宮は今後一大拠点になりますね。社会保険病院もありますし。

**佐藤** 昨年は二次救急力を入れ、輪番制病院を増やし、また協力病院を設置することで、市民の皆様が安心して暮らせる体制をしっかりと確保しました。新型インフルエンザについても、対応体制を整えています。

**築** 雀宮に、市長の提唱されているネットワーク型コンパクトシティにつながる形が見えてきますね。

**佐藤** それぞれの地区でコンパクトシティを構築し、日常生活はその中で困らないというようにしなくてはいいかと思うのです。そして、それらのコンパクトシティを公共交通や道路でつないでネットワーク化を図っていくのが、ネットワーク型コンパクトシティです。

**築** 構想が具体化し、雀宮で実現出来れば市民の皆さんも、肌で分かってもらえると思います。

## 「市民一人ひとりが、主体性を持ちつつ連携していくことが重要」

(築会頭)

**築** 今度の不況を契機として、世界的には資本主義の大きな転換期なのだと思います。デフレ経済は辛いですが、それも産業界のパラダイムシフトの一部だと思います。私も企業人も従来のやり方、延長だけではなく、新しい考え、手法を取り入れていかないと、乗り切っていけないと思つています。

**佐藤** その分、不況に対する抵抗力も……。**築** 強い、ということだと思います。とはいえ、この第二次産業の数字については、大企業が多く、そのために今回の不況で輸出関連の減少などの影響が出ています。ですから、工業団地との意見交換を加えながら、商工会議所の活動を行っていくと考えています。

## 「限られた予算を、最大限に有効活用することを心がけています」

(佐藤市長)

**築** しかし、何と言ってもいい人材をいかに宇都宮市に集めるか、吸収するかということが鍵だと思います。そのためには宇都宮市の情報発信が重要だと考えています。

**佐藤** 宇都宮ブランドで「住めば愉快だ宇都宮」のメッセージもできました。これを定着させるためには、市民の皆さんに積極的に「わが町自慢」、よいところの発信と発信をしていただきたい。これは、行政だけではなく市民の皆様のご協力が不可欠です。

**築** こういう低成長長期にこそ、足固めや人材育成が重要なのではないですか。

**佐藤** まさしくその通りです。私も、ただただ財政を縮小するのではなく、限られた

これは、口で言うのは簡単ですが、現実には難しい。その意味でも、行政の皆さんにいろんな面で力を借りないといけないでしょう。

なんといっても、街全体の志気（モチベーション）、市民の意識を高く持つことが大切だと思います。今は市長さんが先頭に立って志気高揚をやってくださいますが、今後もぜひよろしくお願いします。

**佐藤** 会頭のおっしゃるとおり、今までのやり方が通用しない時代になってきたと思います。社会の転換の度合いは、バブルの比ではないと思います。そこにいち早く道筋を立てないといけないのですが、そのためには——何しろこれほどの高いハードルですから、オール宇都宮でやらなくてはいいかと思っています。

**築** 全くその通りです。

**佐藤** 産業界も行政も大学や研究機関も、もちろん市民も、ありとあらゆるセクターが協力して対応していかなくては解決できないと思います。

**築** そうですね。一人ひとりが、主体性を持ちつつ、連携していくことが重要だと思います。そのまとめ役が市長さん（笑）。

**佐藤** 商工会議所さんのお力も十分にいただいて（笑）がんばっていききたいと思つています。本年もよろしくお願ひいたします。



スポーツを大きく取り上げた、当所青年部発行のフリーペーパー

